

日銀ネット端末装置フリーズ時の対応マニュアル

本マニュアルは、時限性の高い再鑑電文を送信する端末操作^(注)中に日銀ネット端末装置（以下「PC」）がフリーズした場合に、当該電文が日銀ネット中央演算処理装置（コア機能）で処理されるまでの円滑な業務継続を行うための要点を記載したものです。

（注）「画面検証」または「検証印字」＋「送信」、「ファイル送信」の操作をさします。

（目次）

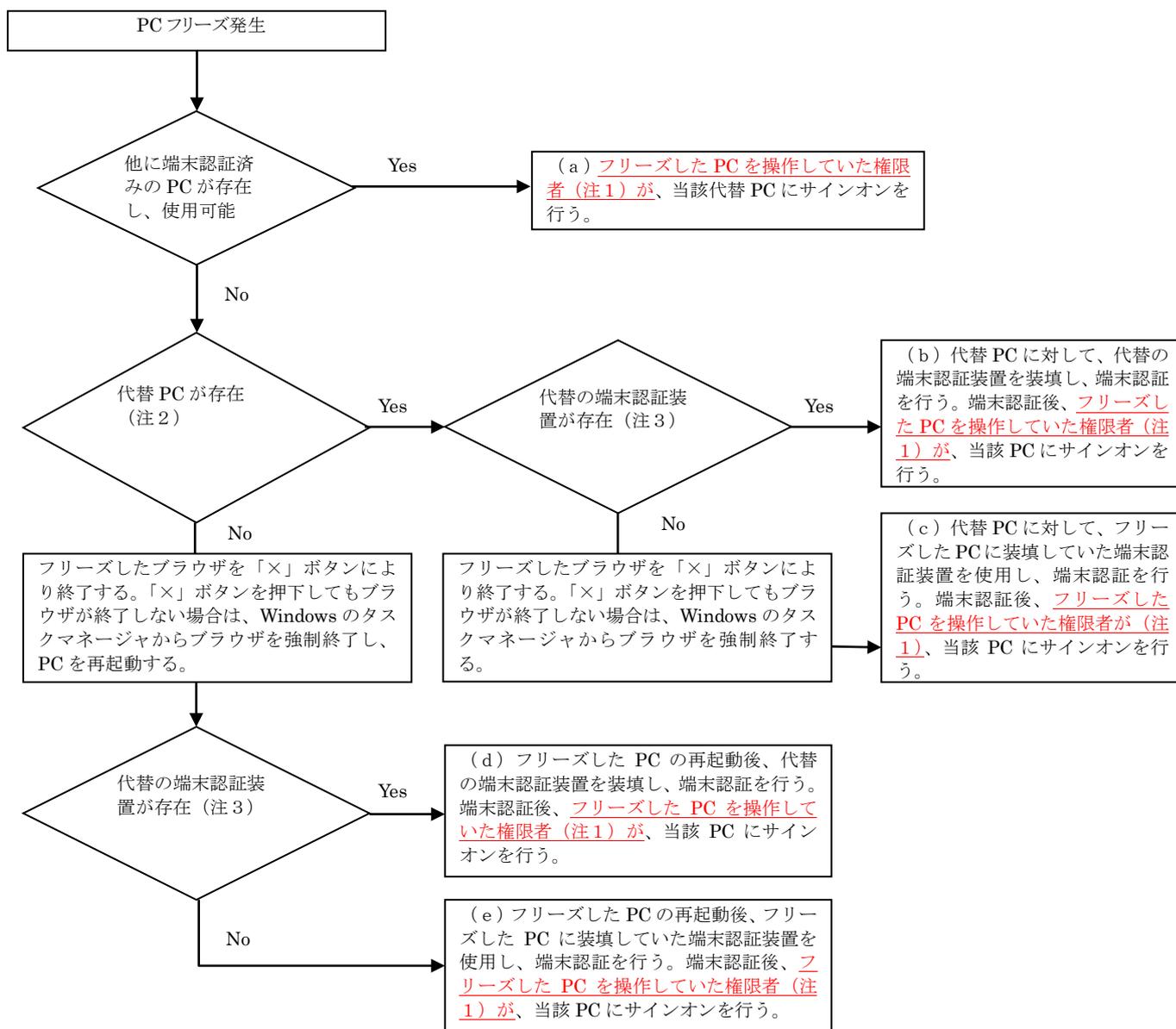
1. 対応手順
 - （1）業務継続するPCおよび端末認証装置の選択
 - （2）電文処理状況の確認および処理状況に応じた対応
2. 対応後の留意事項

1. 対応手順

(1) 業務継続するPCおよび端末認証装置の選択

PCフリーズ時に利用していた端末認証装置は、ブラウザの終了後、最大3分間は再度の端末認証（端末接続）が行えない可能性があります。

このため、以下フローに従い、業務継続するPCおよび端末認証装置を選択してください。



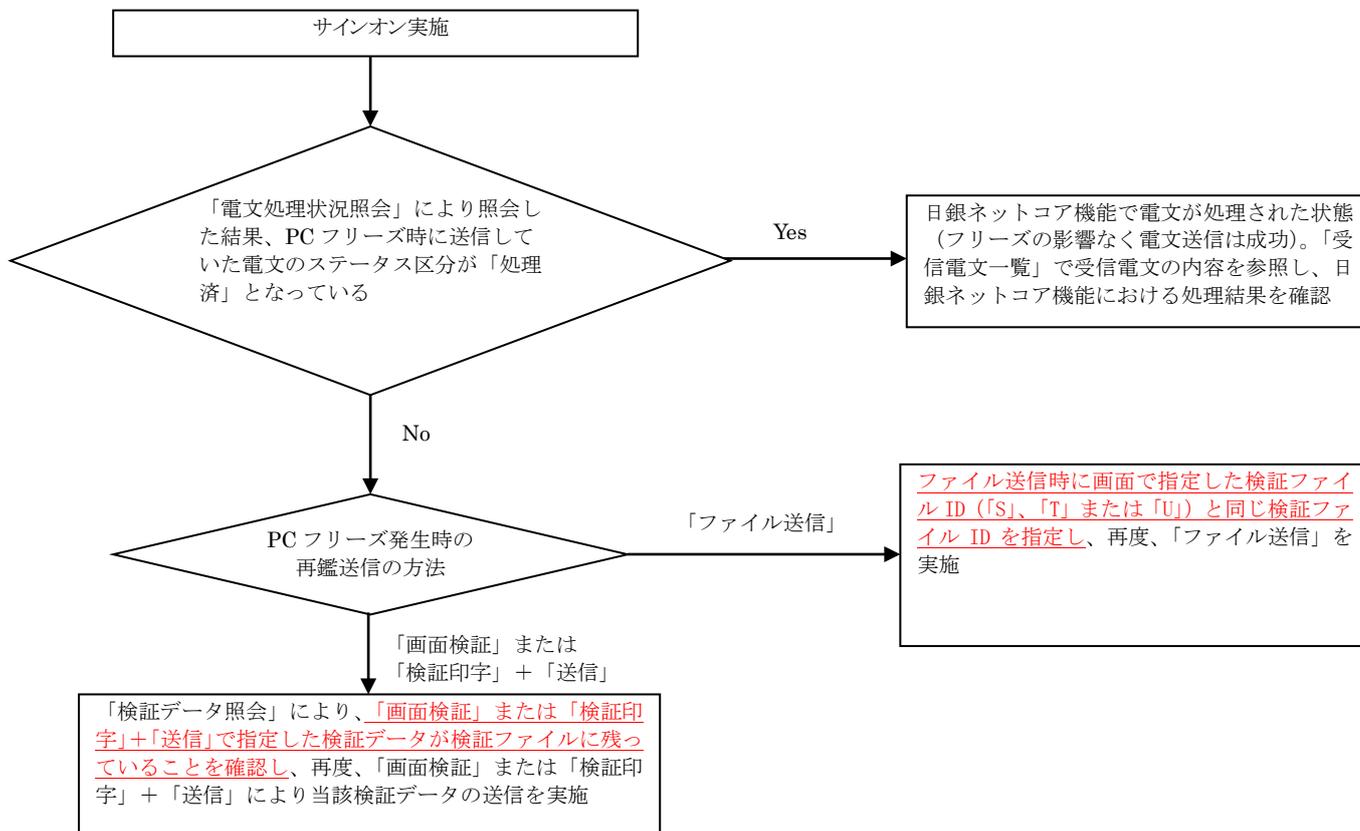
注1: 「検証印字」+「送信」または「ファイル送信」時にフリーズした場合は、異なる権限者でも操作可能です。

注2: 日銀ネット端末装置の設定が行われた代替PCが直ぐに利用可能であれば、当該PCを利用することで、フリーズしたPCの再起動待ち等の時間が短縮できる。

注3: 代替の端末認証装置が直ぐに利用可能であれば、当該端末認証装置により端末認証を行うことで、最大3分の再接続所要時間が短縮できる。ただし、「×」ボタン押下等によるブラウザ終了から明らかに3分経過している場合は、PCフリーズ時に使用していた端末認証装置を使用する方が良い。

(2) 電文の処理状況の確認および処理状況に応じた対応

上述 (1) により選択したPCおよび端末認証装置を利用して、フリーズしたPCを操作していた権限者(注1)が再度サインオンを行い、以下の手順により電文の処理状況の確認等および処理状況に応じた後続処理を行います。



注1：「検証印字」+「送信」または「ファイル送信」時にフリーズした場合には、異なる権限者でも操作可能です。

「画面検証」においては、「画面検証」画面で指定した検証データが、他のユーザーによって更新されないように排他設定が行われています。PCフリーズ後も本排他設定がされている可能性がありますので、フリーズしたPCで画面検証を行っていた権限者が対応することが適当です。

なお、排他設定を解除するには、同権限者が「画面検証」画面からキャンセル（「キャンセル」ボタンを押下）を行う必要があります。

2. 対応後の留意事項

上述1. (2) によって再鑑電文が正常に日銀ネット中央演算処理装置（コア機能）で処理されたことを確認した後においても、下記2点について留意してください。

イ. 検証データを新規登録して業務処理を行った場合

上述1. (2) において、PCフリーズ時に送信していた電文のステータス区分が「処理済」とならなかった状況で、新たに検証データの登録を行って日銀ネットコア機能に電文を送信した場合、PCがフリーズした際の検証データが未送信の状態（「未検証」および「検証中」）で検証ファイル内に残っている可能性があります。このため、誤って2重送信を行わないよう、これら未送信の状態の検証データは「取消」を行ってください。

なお、「検証中」のデータに対して「取消」を行う場合は、「検証解除」により「未検証」にステータスを変更する必要がありますが、「画面検証」時にPCフリーズが発生した場合は当該検証データに排他設定がされている可能性があるため、「画面検証」していた権限者が「検証解除」を実施してください。

ロ. 代替の端末認証装置を使用している場合

上述1. (1) において、フリーズしたPCに装填していた端末認証装置と異なる端末認証装置を使用して業務継続した場合（上述1. (1) のフローにおける（a）、（b）および（d））は、代替の端末認証装置の所属グループがフリーズしたPCに装填していた端末認証装置と異なる（または金融調節等入札連絡事務用端末認証装置ではない）可能性があります。

このため、上述1. (2) の後においても継続して業務を実施する場合は、一度代替の端末認証装置を使用しているPCを終了し、フリーズしたPCに装填していた端末認証装置により、再度端末認証およびサインオンを行ってください。

以 上